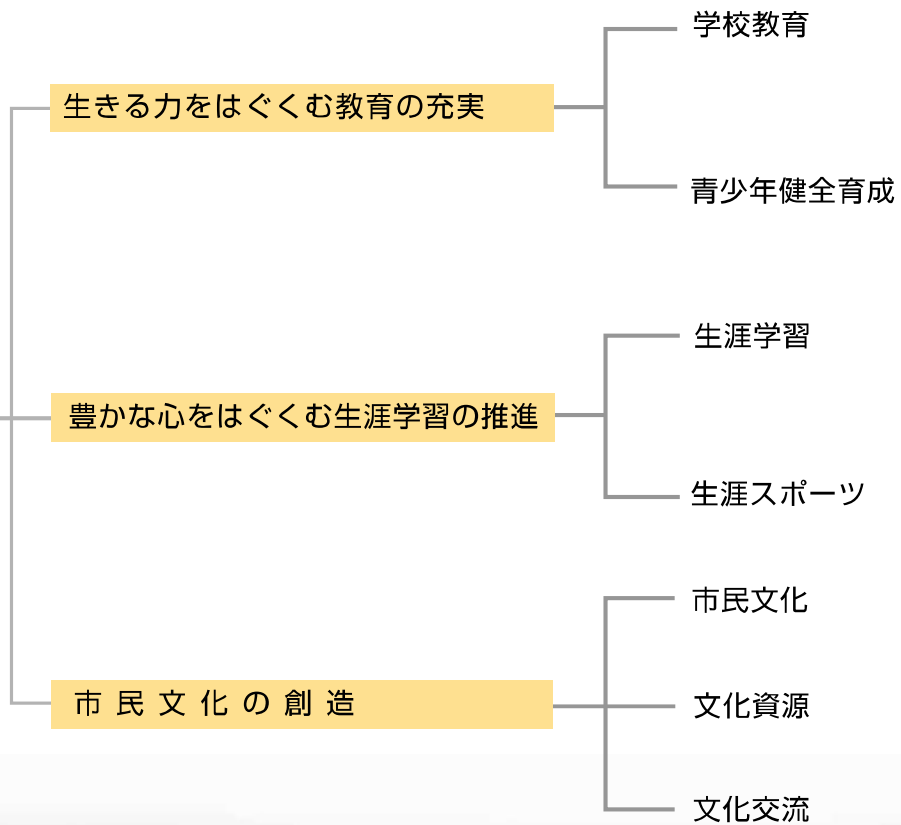




# 心豊かな教育と文化に包まれた、 ゆとりある暮らし

心豊かな教育と文化に包まれた、  
ゆとりある暮らし



心豊かな教育と文化に包まれた、  
ゆとりある暮らし



## 1. 学校教育

## 1 基本方針

- 子どもたちが「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康や体力」、さらには生涯学び続けることができる社会性等を身につけることができるよう、教育内容の充実を図るとともに安全で快適な教育環境を整備します。
- 時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育等の充実を図るとともに、家庭、地域と連携しながら特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- 家庭、地域、学校が連携して、地域ぐるみで子どもの可能性を伸ばし豊かな人間性を育む教育に取り組むなど、地域に開かれた学校づくりを進めます。
- 学校の校区編制、規模の適正化や適正配置を推進します。
- 障害のある児童生徒が、地域において主体的に生きる力を身につけることができるよう、その能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。

## 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	59.2%	62.0%	65.0%

- 市民意識調査において、「小・中学校の教育環境に十分満足している」、「一応満足している」と回答した人数／市民意識調査回答者の総数)×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
学校に満足している児童生徒の割合	88.1%	90.0%	92.0%

- 小学校、中学校の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート」のうち、(授業内容の理解、質問や相談できる雰囲気、学校生活の安心感の3項目における満足度の平均値／アンケートに回答した児童生徒の総数)×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
不登校児童生徒の割合	1.5%	1.4%	1.1%

- (不登校児童生徒【年間30日以上欠席した児童生徒】の人数／児童生徒の総数)×100

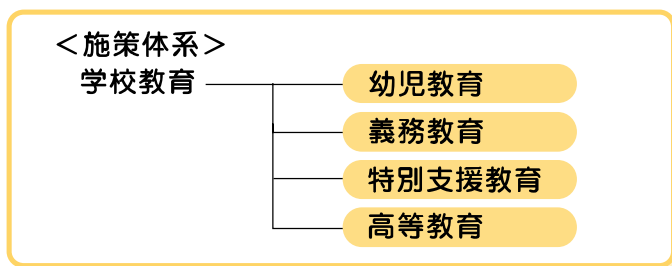
施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
支援の結果、登校できるようになった児童生徒の割合	15.0%	23.0%	26.0%

- (支援を行うことにより再び学校へ復帰した児童生徒の人数／不登校児童生徒【年間30日以上欠席した児童生徒】の総数)×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合	27.0%	30.0%	50.0%

- (特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の数／通常学級に在籍し、各学校において特別な支援が必要と判断している児童生徒の総数)×100

### 3 施策展開



#### (1) 幼児教育

##### ① 幼児教育の充実

- 人間尊重の精神を基盤として、幼児の個性と能力を最大限に発揮し、生きる力の基盤となる心情・意欲・態度等が身につくようにします。
- 子どもが安心して楽しく幼稚園生活を送ることができるよう、教員との信頼関係を築くとともに、一人ひとりの発達特性に応じた指導を行います。
- 遊具の充実等を進め、しなやかな心と体の発達を促すとともに、安全教育等を進め、自ら安全な行動をとることができる力の基礎を培います。
- 地域に開かれた幼稚園として、未就園児親子への施設開放や交流の場の提供など、家庭における教育力の向上及び子育て支援の役割を果たすとともに、地域の教育力を積極的に活用して、様々な世代や地域の人々との豊かな交流を進めます。
- 幼稚園・保育所との連携を一層推進して、小学校就学前の子どもの育ちを支える体制を整備するとともに、保育所・幼稚園・小学校間の連携を密にすることで、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育を充実させます。

##### ② 教育環境の整備等

- 幼稚園の教育研究や教員資質の向上を図るとともに、多様なニーズに対する教育環境を整備します。

#### (2) 義務教育

##### ① 自ら学び、考える力を育てる教育

- 児童生徒に生きる力を育むことを目指して、自ら学び自ら考える力を育成するとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るなど、個性を生かす教育を充実します。
- 体験的な学習、問題解決的な学習を重視し、各教科や「総合的な学習の時間」において、自ら調べ、まとめ、発表する活動、話し合いや討論などを積極的に取り入れます。

- 望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解して、進路を選択する能力、態度の育成に努めます。
- 名張市の伝統・文化・歴史等について学び、親しむとともに、郷土を誇り、継承の大切さを実感できる教育を推進します。
- 各学校にコンピュータを配置して、情報活用能力を育成するとともに、児童生徒の主体的な学習を進めます。また、教職員のICT活用指導力の向上や児童生徒の情報モラル教育の推進に努めます。
- 環境教育教材としての活用を図るため、各学校に適した太陽光発電の導入に取り組みます。
- 社会の変化と新しい時代に対応して、児童生徒の発達段階に応じた小学校外国語活動・国際理解教育、情報教育、環境教育、福祉・健康教育等を充実します。

## ② 心を大切にす教育

- 人権教育の充実を図り、一人ひとりの生命や人権を尊重する態度、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくそうとする意欲と実践力を育成します。
- ボランティア精神や社会生活上のルール、基本的なモラルなどの倫理観を育成するため、道徳教育を充実します。
- 成長段階にある少年期の精神や肉体の健全な発達のために、健康教育及び食育を充実します。
- 子どもの健全育成のため、スクールカウンセラー等の配置により悩み相談、教育相談を充実するとともに、家庭、地域との連携を強化します。

## ③ 基礎学力の充実

- 児童生徒が学習内容を確実に身につけることができるように少人数教育などの指導体制や指導方法に工夫を加え、児童生徒の状況に応じた指導を進めます。
- 教員の資質の向上や教職員の適正配置を進めるとともに、複数担任等のきめ細やかに行き届いた教育環境の整備を関係機関に要請します。

## ④ 地域に開かれた魅力ある学校づくり

- 各学校の自主的な判断に基づく主体的な学校運営を進めるとともに、「総合的な学習の時間」などの創意工夫を生かした取組や柔軟な施設管理に努めることにより、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めます。
- 学校評議員会の設置、学校評価の取組による学校運営への地域住民の参画、学校支援ボランティア等、地域の優れた人材や環境を生かした学習を推進するなど、家庭、地域、学校の連携を一層強化して、地域ぐるみで子どもの教育や学校の支援に取り組みます。

- 学校が地域の生涯学習やコミュニティ活動の拠点となるよう、学校施設の開放や余裕教室の活用を進めるとともに、様々な世代間の交流を促進するなど、地域に開かれた学校づくりに積極的に取り組みます。
- 家庭、地域、学校が連携協力して、児童生徒の学校外における体験的な活動の幅を広げることにより、心身の健全な発達を促します。

#### ⑤ 教育環境の整備等

- 小・中学校の教職員の資質向上を図るため、教育研究や多様なニーズに応じた研修の場を整えます。
- 教育相談体制の一元化を図ることにより、業務を効率化して、迅速に対応できる体制をつくります。
- 全中学校区に学校支援地域本部を設置することにより、学校支援ボランティアを十分に活用できるような体制を構築します。
- 多様な教育的ニーズに対応していくため、名張市教育研究所の拡充を図り、社会全体で教育の向上を目指す(仮称)名張市総合教育センター構想の具体化を進めます。

#### ⑥ 学校施設の整備等

- 学校施設については、地震発生時における児童生徒の安全確保と被災直後における応急避難所としての機能を有していることから、順次耐震化を図ります。
- 児童生徒に、質の高い学びの環境を提供するため、将来予測に基づく就学児童生徒数の減少に対応して、学校の統廃合を視野に入れた校区編成の抜本的な見直しも行いつつ、学校規模の適正化や学校の適正配置を推進します。
- 通学区の弾力的な運用を推進するとともに、中学校区を目安としたより広域かつ密接に地域社会と連携して、地域の特色や人材を生かした魅力ある学校づくりに取り組みます。

### (3) 特別支援教育

#### ① 就学指導

- 子どもの障害の状態に応じて適切な教育を受けることができるよう、安心して就学できる体制や設備の整備、就学相談等の充実に取り組みます。

#### ② 障害のある児童生徒の自立のための教育

- LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症等の障害のある児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握したうえで、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、もしくは障害の克服を目指した適切な教育を進めるため、必要な人員の配置を県等に要請します。
- 教職員の専門的な能力を高めるための研修や情報交換などの機会を充実します。

- 保護者等との連絡・連携を密にするとともに、保護者の養育上の悩みに応えることができるよう専門家による個別相談を実施します。
- 社会性を養い、人とのかかわり方、遊び方、学習の仕方などを身につけることができるよう学校間や地域の人々との交流を深める機会を充実します。
- 各学校において、児童生徒が障害者に対する正しい理解と認識を持つことができるように指導します。

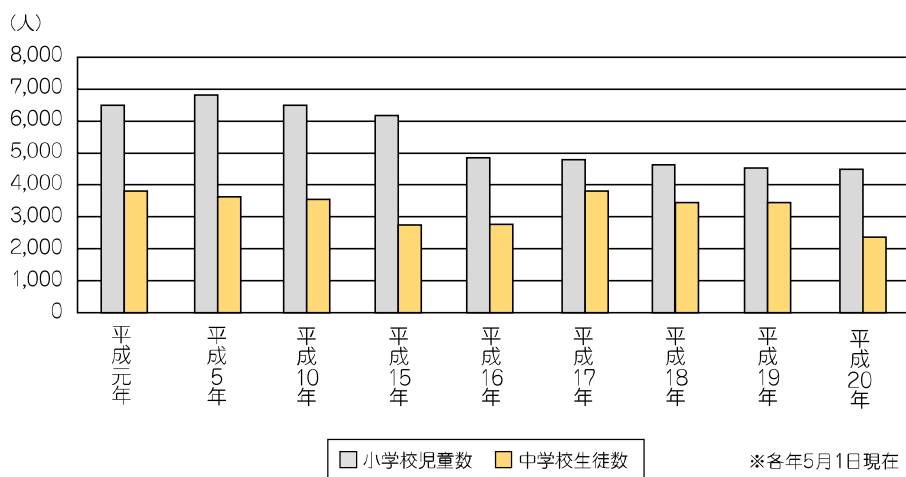
### ③ 関係機関等との連携

- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な対応を行うため、地域の特別支援学校をはじめ、医療・福祉機関等との連携を強化するとともに、保護者等に対する相談及び支援を行う体制の整備を進めます。また、子どもたちが卒業後も地域で主体的に生活していくための職業教育や進路指導体制の充実に取り組みます。
- 乳幼児期から一貫した発達支援ができるよう、個別の支援計画等を引き継ぎ活用できる体制を整えます。

## (4) 高等教育

- 各高等学校における選抜方法の多様化や生徒の多様な能力を積極的に評価するための選択尺度の多元化など、入学選抜について一層の改善を県に要請します。
- 生徒の個性や創造性を伸ばして、社会の変化に対応した多様な選択ができるよう高等学校の特色化や魅力づくりを県に要請します。
- 高等教育機関との連携を強化し、様々な施策や地域課題についての共同研究を通して地域との交流・連携を促進します。

■ 児童・生徒数の推移 (資料：学校教育室)



## 2. 青少年健全育成

### 1 基本方針

- 家庭、地域の教育力低下や連帯感の希薄化等が懸念されるとともに、少子高齢化がさらに進行するなかで、名張の未来を担う青少年が、心身ともに健全にたくましく成長することができるよう、青少年の実情の把握に取り組みます。あわせて、一人ひとりの人格、多様な行動や考え方を尊重しながら、家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- 青少年の自主的な活動や交流が活発に行われるよう支援するとともに、青少年の非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。

### 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
初発型非行数	77件	70件	60件

- 動機が単純で、比較的早い段階で現れる、万引き、自転車・オートバイ盗及び自転車やオートバイ等の占有離脱物横領などの件数

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
青少年ボランティア数	47人	50人	56人

- 子どもたちの活動を支援する目的で活動する、中学生、高校生、大学生を主な構成員とする青少年ボランティア団体の会員数(ジュニアリーダークラブ、シニアリーダークラブ)

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
放課後子ども教室実施回数	22回	156回	228回
		(延べ)488回	(延べ)1,100回

- 放課後子ども教室を各小学校区において実施した回数

### 3 施策展開

#### < 施策体系 >

青少年健全育成

社会参加活動の促進

健全な環境づくり

## (1) 社会参加活動の促進

### ① 青少年活動の促進

- 放課後子ども教室のほか、子ども会活動、週末活動、体験活動など市民主体の青少年活動を積極的に支援・育成するとともに、多様な地域や世代の人々との幅広い連携を促進します。
- 名張市青少年育成市民会議、なばり子どもセンター事業などを通じて、関係機関との連携を図ることにより、青少年の文化・スポーツ・レクリエーション活動を促進します。
- 青少年ボランティアや青少年活動指導者の育成を図るなど、青少年の社会参加活動に取り組みます。

### ② 施設の利用促進

- 青少年の活動の場として、公園、スポーツ・レクリエーション施設、学校、公民館や市民センターなどを有効に利用できるようにします。

## (2) 健全な環境づくり

### ① 家庭教育の充実

- 家庭における教育機能の向上を図るため、講座の開催のほか、青少年補導センターにおける相談窓口の充実等に取り組みます。
- 家庭と学校だけでなく、地区公民館における家庭教育学級の充実など、地域ぐるみで家庭教育を推進する体制を整備します。

### ② 指導、相談体制の充実及び環境の整備

- 青少年補導センターを中心に、学校、警察、児童相談所、福祉事務所等の関係機関が連携を密にし青少年の健全育成を推進します。
- 青少年自身が気軽に相談することができるよう窓口の整備に努めます。
- 青少年育成市民会議及び青少年育成推進員を中心に、学校、地域組織や関係団体・機関との連携を強化しつつ、子どもに危険を喚起する看板の設置や「子どもを守る家」事業の推進など、健全育成の環境づくりに取り組みます。



## 1. 生涯学習

## 1 基本方針

- 市民一人ひとりが自らの資質の向上や社会の一員として様々な活動に参画するための学習機会を提供し、学習を通して多様な交流を広げ、心かよう地域社会づくりへと発展させていくため、生涯学習のまちづくりを進めます。
- 市民一人ひとりの個性やライフサイクル、ライフスタイルに応じた生涯学習活動を進めることができるよう積極的な情報提供を行うとともに、魅力的な学習メニュー、豊富な情報や人材、使いやすい施設など、多様化するニーズに対応して快適に学び続けることのできる学習機会や環境の充実に取り組みます。
- 生涯学習を通して身につけた知識や情報、経験を地域や社会で生かすことができるよう学校、ボランティア組織や福祉施設等との連携を強化します。
- 高等教育機関との連携を強化し、様々な施策や地域課題についての共同研究を通して地域との交流連携を促進します。

## 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合	42.3%	46.0%	49.0%

- 市民意識調査において、「目的を持って生涯学習に取り組んでいる、そのとおりの状況である」、「どちらかと言えばそのとおりの状況である」と回答した人数／市民意識調査回答者の総数×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
公民館のサービスに満足している利用者の割合	66.9%	72.0%	77.0%

- 公民館の利用者アンケートにおいて、「公民館を総合的に見て「満足している」「大変満足している」と回答した人数／アンケート回答者の総数×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
市民1人あたりの年間公民館利用回数	3.1回	3.6回	3.8回

- 年間公民館利用人数／（住民基本台帳【全市】+外国人登録者数【全市】）

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
市民1人あたりの年間図書貸出冊数	6.1冊	6.4冊	6.8冊

- 年間図書貸出冊数／（住民基本台帳【全市】+外国人登録者数【全市】）

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	15.6%	16.5%	17.0%

- {年度内における図書の貸出利用者数 / (住民基本台帳【全市】+外国人登録者数【全市】)} ×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
公民館における家庭教育講座の講座数	10講座	12講座 ----- (延べ)56講座	14講座 ----- (延べ)96講座

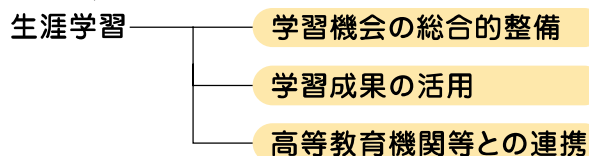
- 公民館が主催または共催して開設した講座数

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
高等教育機関と共同実施した事業数	0件	2件 ----- (延べ)6件	3件 ----- (延べ)15件

- 名張市と高等教育機関が主催または共催して実施した事業の件数

### 3 施策展開

#### <施策体系>



#### (1) 学習機会の総合的整備

##### ① 学習推進体制の充実

- 社会教育主事の充実・養成を図りつつ、広く市民活動に関連する活動全般を調査、研究、分析して、新たな活動を企画・提案することにより、適切な生涯学習機会を提供します。
- ボランティア等の指導者養成講座を通して人材育成を進めるとともに、市民が身近で指導や助言を受けられる環境づくりに取り組みます。
- 自由で創造的な生涯学習活動が各地区で展開されるよう、地域住民本位の公民館の管理・運営を進めます。
- 地区公民館まつり等の各種のイベントを支援することにより、市民の生涯学習に対する関心を高めます。
- 図書館サービスを充実するため、郷土に関する資料や新刊図書の収集・整備に努めるとともに、他図書館との相互貸借等を進めます。
- 家庭及び地域における教育力の向上を図るため、公民館単位で家庭教育に関する事業の充実を図ります。

## ② 学習機会の拡充

- 市民一人ひとりが人生の各段階において、文化や趣味、職業能力の開発など様々な分野で、主体的に生涯学習活動を行うことができるよう、豊富な生涯学習情報を体系的に提供するシステムの整備を進めます。
- 民間団体やサークル、各種学校等と連携しながら、学習ニーズの把握に努めるとともに、多種多様な学習形態、学習内容の中から、誰もが自分にあった方法や手段を選択して、学ぶことができるよう多様な生涯学習機会の確保に取り組みます。

## ③ 学習施設等の整備充実

- 都市内分権の進展に応じて、地域と各種社会教育施設を含む行政情報の共有化を推進するとともに、ネットワークシステムの構築を進めます。
- 学校施設の地域開放を進めるとともに、公共的施設や各種学校などの民間施設との連携を強化し、学習施設として積極的に活用することができるよう取り組みます。
- 生涯学習施設の快適な利用環境を保つため、生涯学習施設維持管理計画を策定し、計画的かつ効率的な施設の維持管理を検討します。

## (2) 学習成果の活用

- 学習成果を発表する機会の拡充を図るとともに、こうした学習発表の機会を通じて、地域における多様な文化団体や人々との交流を促進します。
- 生涯学習の成果をまちづくりやボランティア活動に生かすことができるよう学校、ボランティア組織や福祉施設等との連携を強化するとともに、幅広い分野での社会貢献に取り組みます。
- 市民が主体となって企画運営する講座やイベント等の実施を積極的に支援し、その成果として新たな活動の創造や活動内容の充実に繋がるシステムづくりと人材の養成を進めます。

## (3) 高等教育機関等との連携

- 高等教育機関の公開講座や図書館等の施設の開放、リカレント教育の充実など、生涯学習機能の向上について働きかけを行います。また、学生のボランティア活動、教員の地域での専門分野における協力、行政や地域の課題に関する共同研究を通して、地域との交流連携を促進します。
- 生涯学習の中核的な機関として、放送大学の効果的な活用を促進します。
- 企業等の研修施設との連携を強化するとともに、公開講座、研修、施設開放などを通して、市民の職業訓練や生涯学習活動の場として積極的な役割を果たすよう働きかけを行います。

## 2. 生涯スポーツ

### 1 基本方針

- 市民の誰もが、生涯を通して自主的にライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、健康ではつらつとした暮らしを営むことができるような環境をつくり上げるため、総合型地域スポーツクラブをはじめとするスポーツ関係団体や地域との連携を図りつつ、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- 市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、ニュースポーツの普及やイベントの開催や、スポーツ・レクリエーション施設の整備について、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組みます。

### 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	36.5%	40.0%	43.0%

- 市民意識調査において、「週に1回以上スポーツに親しんでいる」と回答した人数／市民意識調査回答者の総数×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
スポーツリーダーバンク 利用回数	15回	35回 (延べ)125回	50回 (延べ)260回

- スポーツリーダーバンクが利用された回数

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
市民1人あたりの 年間体育施設利用回数	5.0回	5.5回	6.0回

- 体育施設年間利用回数／(住民基本台帳【全市】+外国人登録者数【全市】)

### 3 施策展開

<施策体系>

生涯スポーツ

スポーツ活動等の充実

スポーツ施設等の整備充実

#### (1) スポーツ活動等の充実

##### ① スポーツ・レクリエーション活動の充実

- 生涯スポーツ社会の実現に向けて、名張市スポーツ健康都市を宣言するとともに、市民の多様なスポーツニーズに対応し、幼児から高齢者までの誰もが生涯を通じて、それぞれの年齢、技術、目的に応じて、いつでも、誰でも、いつでもスポーツを楽しむことができる環境づくりに取り組みます。

- 高齢者や障害者をはじめ、多様な人々が生涯を通じて、身近にスポーツに親しむことができるよう健康づくり活動との連携を強化するとともに、各種スポーツ・レクリエーション大会やスポーツ教室の開設、ニュースポーツの普及、ウォーキングコースマップの活用、トップレベルのスポーツ大会の誘致などを推進します。
- スポーツへの関心度を高めるため、新聞、テレビなどあらゆる媒体を活用して、旬のスポーツ関連情報を市民に提供します。あわせて、インターネットでの情報発信、並びに受信サービスを充実します。

## ② 関係団体等との連携と自主自立に向けた支援

- スポーツ活動の充実を図るため、総合型地域スポーツクラブ、体育協会、レクリエーション協会等の各種スポーツ団体組織との連携を図りながら事業を展開しつつ、これらの団体が自主・自立に向けて取り組むことのできる体制づくりを支援します。
- 各種スポーツ大会の運営に対するボランティア等の参画を促進します。

## ③ 指導者の育成強化と効果的な活用

- 体育指導委員の質的向上と知名度の向上、さらには、これまで以上に指導力が発揮できる体制をつくるため、指導機会の増加や研鑽・研修の強化・充実に取り組みます。
- スポーツ事業の振興と競技力の向上を図るため、スポーツリーダーバンク制度やスポーツ指導者協議会組織を見直して、指導者の確保及び資質の向上を図るとともに効果的に活用できる環境づくりに取り組みます。
- スポーツ指導者の研修と交流を進めることにより、小学校・中学校・高等学校で、一貫して指導できる体制を整えるなど、児童生徒の持つ個性、能力の伸長に努めます。

## (2) スポーツ施設等の整備充実

### ① スポーツ・レクリエーション施設の整備充実

- 体育施設については、利用者の安全・安心を確保しながら快適な利用環境を維持するため、指定管理者と連携を図りながら適切な維持管理に努めます。
- 施設整備にあたっては、財源の確保や民間施設の活用等も視野に入れた「整備計画」及び「実施計画」を策定し、実現可能な手法を検討します。

### ② 学校等公共施設の有効活用

- 地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、身近な学校の体育施設や公共用地などの開放を進めるとともに、地域のスポーツ・レクリエーション活動拠点として有効利用を促進します。

## 1. 市民文化

### 1 基本方針

- 社会の成熟化を背景に、ゆとりある生活や心の豊かさを重視する市民意識の変化や文化的な関心の高まりにあわせて、名張市が培ってきた歴史や文化環境を基盤に新しい文化を育むなど、市民自らの創意と自発的な活動により「名張らしさ」が息づく魅力ある市民文化を育み、心豊かな交流が広がる質の高い暮らしを創造します。
- 「能楽のふるさとづくり」を目指して、伝統文化の伝承・発展や市民の自主的な文化活動を積極的に支援するとともに、充実した文化活動ができるよう人材の発掘や育成に努めます。
- 名張の伝統や特性を生かして、特色ある文化を育みながら、名張の文化を積極的に発信するとともに、全国の多様な地域との豊かな文化交流に努めます。

### 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合	49.6%	53.0%	54.0%

- 市民意識調査において、「1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことがある」と回答した人数／市民意識調査回答者の総数×100

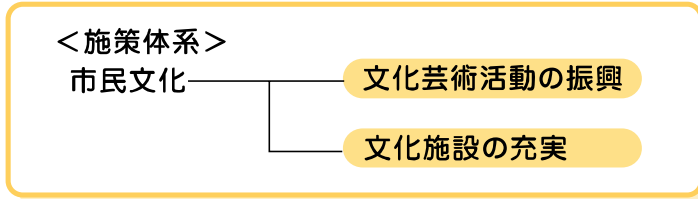
施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
美術展覧会出展数	230点	240点	240点
		(延べ)1,172点	(延べ)1,892点

- 美術展覧会の出展数

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数	44,288人	45,000人	46,000人
		(延べ)222,000人	(延べ)360,000人

- 青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の利用者数の合計人数

### 3 施策展開



#### (1) 文化芸術活動の振興

- 地域、サークル、文化団体等の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、市民がいつでも気軽に文化芸術活動に参加し、身近なところで文化芸術に接することができるよう機会を拡充します。また、文化芸術活動に関する情報ネットワークを形成するなど、積極的な情報提供を進めます。
- 市民の芸術創造の意欲を高めるため、市民自らが創作した作品や成果を発表する機会を拡充します。また、市民が身近なところで文化に親しむことができるよう音楽祭、美術展や企画展の開催など魅力ある各種文化事業を推進します。
- 観阿弥創座の地として「能楽のふるさとづくり」を進めるため、子ども狂言、児童謡曲仕舞教室、夏能など能楽の振興に取り組みます。
- 江戸川乱歩生誕の地として、江戸川乱歩とゆかりのある東京都豊島区や「乱歩都市交流会議」を構成する三重県内の3市との交流を推進します。
- 名張市の特色を生かした生涯学習を通して、地域の文化を担う人材の発掘や育成に努めるとともに、個性豊かで広がりのある市民文化活動を進めます。

#### (2) 文化施設の充実

- 地域による公民館の自主管理、自主運営を進め、地域における文化活動の拠点として、住民主体の身近な文化活動を促進します。また、学校などの公共施設や民間交流施設の有効利用を促進します。
- 青少年センターをはじめ、図書館、郷土資料室、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館、観阿弥ふるさと公園能舞台等の既設文化施設の有効利用を進めます。
- 市民が創作した作品等の発表や展示などの場として、既存公共施設や空き店舗等を有効に活用します。

## 2. 文化資源

### 1 基本方針

- 名張市は、古代より東西交流の要衝として開け、豊かな交流や風土によって育まれた数多くの文化遺産や地域資源があります。これらを市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- 地域で育まれた文化遺産等の地域資源について、積極的に保存、活用を図るため、学校教育、生涯学習やまちづくり、集客交流産業等と連携しながら、郷土の歴史・文化をテーマとした施設整備などの環境づくりを進め、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- 文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- 貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。

### 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
名張の歴史を知っている市民の割合（歴史テスト認知率）	38.4%	42.0%	43.0%

- 市民意識調査において、（名張の歴史に関する設問で5問中、4問以上を認知している人数／市民意識調査回答者の総数）×100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数	497人	1,000人	1,000人
		(延べ)3,700人	(延べ)6,700人

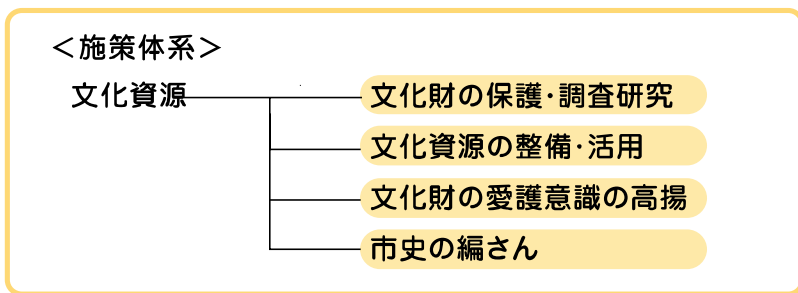
- 市民団体の主催により、夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用して開催される行事への参加者数

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合	71.0%	72.0%	73.0%

- 市民を対象とした歴史ハイキングや歴史講座等を通して、（文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の数／アンケート回答者の総数）×100



### 3 施策展開



#### (1) 文化財の保護・調査研究

- 有形・無形の文化財について、さらなる計画的な実態調査を実施するとともに、重要なものについては文化財に指定するなど、積極的な保護・保存に取り組みます。また、まちなみ景観に重要な役割を果たす歴史的建造物等については、国の登録文化財として申請を行い、その保護と継承に努めます。
- 埋蔵文化財については、郷土資料館等の展示施設や整理施設の充実を図るとともに、新たな保管施設について検討を進めます。また、重要な遺跡については、史跡に指定して保存に取り組みます。
- 市域にある文化財の学術調査や郷土の資料・記録について整備を進めるとともに、調査報告等の公表に取り組みます。

#### (2) 文化的資源の整備・活用

- 地域の歴史に親しめるよう文化財の展示や公開講座の開催などを進めます。
- 田園・歴史・文化ミュージアム構想を具体化するため、史跡美旗古墳群の史跡整備を進めるとともに、能楽発祥の地・観阿弥ふるさと公園など美旗地域に点在する歴史遺産や田園景観の保全・整備を計画的に進めます。
- 歴史・文化と地域づくり、観光・産業の連携を強化し、夏見廃寺展示館、名張藤堂家邸跡、江戸川乱歩、観阿弥や伝統芸能、伊賀まちかど博物館等の名張の文化資源をネットワークで結び、歴史と文化を楽しみながら訪ね歩くことができるようガイドマップの作成等を行います。

#### (3) 文化財の愛護意識の高揚

- 文化財保護の重要性について市民の理解を深めるため、体系的な情報発信を行う文化財ネットワーク事業を推進するとともに、発掘調査説明会や市民を対象としたシンポジウム等を開催します。
- ふるさとの歴史、文化を内外の人に広く紹介して、交流を広めるとともに、「ふるさと名張」への愛着を育むため、市民団体による散策会や講座等の活動を積極的に支援します。

#### (4) 市史の編さん

- 貴重な歴史文化資料を整理し、名張市の歴史を明解にすることにより、市民の歴史と文化、伝統に対する理解を深めるとともに、後世の人々に伝えるため、市史の編さんを進めます。

## 3. 文化交流

### 1 基本方針

- 名張の伝統や特性を生かして、特色ある文化を育みながら、名張の文化を積極的に発信することにより、全国の多様な地域との豊かな文化交流を進めます
- 外国人旅行者や在住者が、住みやすく、活動しやすい日常生活に関する情報提供を進めるとともに、市民公益活動団体等とのネットワークを充実します
- 名張固有の文化等の情報発信を通して、世界の多様な地域や人々との交流を広げることにより、世界に開かれたまちづくりを進めます。

### 2 目標

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合	55.5%	58.0%	60.0%

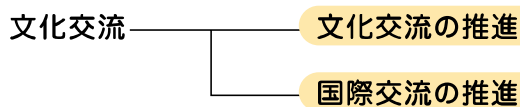
- 市民意識調査において、「名張の文化を広く市外に発信したいと思う」と回答した人数 / 市民意識調査回答者の総数) × 100

施策指標	現状値	2012年度目標	2015年度目標
指差し会話集の数	13件	1件	1件
		(延べ) 17件	(延べ) 20件

- 市役所の手続きに必要な、窓口用「指差し会話集」の作成数

### 3 施策展開

< 施策体系 >



#### (1) 文化交流の推進

- 地域の文化を高め広く発信するため、文化事業の開催や人的交流など、文化を通じた国内外の様々な地域との交流を積極的に推進します。
- 能楽をはじめとする多様な文化や地場産業等に関する広報活動の充実、能楽振興にかかるネットワークづくりなど、名張の文化を全国へ向けて情報発信することにより、多様な情報交流を進めます。

- 観阿弥創座の地として、また、江戸川乱歩の生誕地として、能楽や乱歩にゆかりのある地域等との交流を進めます。
- 京都、滋賀、奈良などの地域と関わりのある歴史、文化等を生かして、幅広い広域文化交流ネットワークを形成します。
- 固有の歴史文化資源等を活用した観光振興を図ることにより、多くの人々を名張に迎え、全国、さらには世界の多くの人々と市民が交流する機会を創出します。

## (2) 国際交流の推進

### ① 国際理解教育の推進

- 人権学習や国際理解講座の開催など、あらゆる機会を通して、交流の基本となる国際感覚や諸外国に対する理解を促進します。

### ② 多文化の共生

- 外国から訪れた人や地域で生活する外国人にとって、分かりやすい外国語表記のガイドブックやサイン等を充実するとともに、住みやすく、活動しやすい日常生活に関する様々な情報提供を進めます。
- 地域で生活する外国人の市役所での手続き支援や日本語教室などの市民公益活動団体等とのネットワークを充実します。

### ③ 国際交流の推進

- 名張市スポーツ少年団が交流を続けてきた中国・蘇州市や市民グループによる交流が続けられている海外との友好関係を一層深め、積極的な交流を促進します。
- 国際交流や国際協力に取り組む市民グループ等の主体的な活動を支援します。

